



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月12日

上場会社名 株式会社WDI 上場取引所 東
コード番号 3068 URL <https://www.wdi.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役 （氏名）清水 謙
問合せ先責任者 （役職名）取締役 管理本部本部長 （氏名）佐々木 智晴 TEL 03-3404-3704
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 無
決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	16,199	2.6	349	191.0	308	—	△277	—
2025年3月期中間期	15,792	7.2	120	△81.4	△30	—	1,031	35.2

（注）包括利益 2026年3月期中間期 △508百万円（—％） 2025年3月期中間期 1,054百万円（7.5％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△44.35	—
2025年3月期中間期	165.14	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	23,204	7,526	26.6	983.64
2025年3月期	22,549	8,109	28.5	1,027.54

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 6,163百万円 2025年3月期 6,426百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	17.00	17.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
	33,850	5.9	930	24.1	850	21.3	200	△78.5	31.94

（注）1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正については、2025年10月22日に公表いたしました「特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2 2025年7月23日付で譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行っております。2026年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該自己株式の処分の影響を考慮しております。

※ 注記事項

（1）当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

（2）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、第2四半期（中間期）決算短信（添付資料）10ページの「2. 中間連結財務諸表及び主な注記

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2026年3月期中間期	6,331,920株	2025年3月期	6,331,920株
2026年3月期中間期	66,386株	2025年3月期	77,286株
2026年3月期中間期	6,258,803株	2025年3月期中間期	6,247,636株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(会計方針の変更に関する注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(継続企業の前提に関する注記)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、物価上昇が継続していることから、個人消費は伸び悩んでいる状況が続いていると思われます。

海外経済におきましては、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻の長期化や中東情勢等による地政学的リスクや、米国の通商政策の動向などにより、先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、訪日外国人の増加によるインバウンド消費の拡大などを背景に、全体としては堅調に推移いたしました。一方で、原材料及びエネルギー価格の高騰に加え、物流費や建築費の上昇、さらに人手不足に伴う人件費の増加など、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは今年度より「信頼されるブランド創り」を重点テーマに掲げ、各ブランドの独自性をさらに高め、お客様にとって店舗での時間が「感動体験」となることを目指しております。

あわせて、ブランド価値の向上を図るため、「各ブランドらしいQ.S.C.A（クオリティ、サービス、クレンリネス、アトモスフィア）の向上」、「従業員が誇れる職場環境の構築」、「お客様と感動を共有する体験の提供」などの施策に取り組んでおります。

新規出店につきましては、国内において「カプリチョーザ」を大阪市北区のKITTE大阪に1店舗、足立区のららテラス北綾瀬に1店舗の計2店舗、「ウルフギャング・ステーキハウス」を港区のニューマン高輪に1店舗出店いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は16,199百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益は349百万円（前年同期比191.0%増）、経常利益は308百万円（前年同期は経常損失30百万円）となりました。特別損失として、減損損失673百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する中間純損失は277百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益1,031百万円）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①日本

国内では、売上高は12,312百万円（前年同期比8.9%増）、営業利益は899百万円（前年同期比10.5%増）となりました。

②北米

北米では、売上高は3,093百万円（前年同期比17.0%減）、営業損失は252百万円（前年同期は営業損失414百万円）となりました。

③ミクロネシア

ミクロネシアでは、売上高は633百万円（前年同期比4.8%減）、営業利益は25百万円（前年同期比22.9%減）となりました。

④欧州

欧州では、営業損失は20百万円（前年同期は営業損失17百万円）となりました。

⑤アジア

アジアでは、売上高は159百万円（前年同期比67.2%増）、営業損失は18百万円（前年同期は営業損失16百万円）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は9,842百万円となり、前連結会計年度末より1,385百万円増加いたしました。これは、現金及び預金が1,399百万円増加した一方で、預け金が130百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は13,362百万円となり、前連結会計年度末より730百万円減少いたしました。これは有形固定資産が835百万円減少した一方で、投資その他の資産が110百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、資産合計は23,204百万円となり、前連結会計年度末より654百万円増加いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は5,932百万円となり、前連結会計年度末より735百万円増加いたしました。これは、1年内返済予定の長期借入金が500百万円、未払金が581百万円増加した一方で、未払法人税等が132百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は9,745百万円となり、前連結会計年度末より502百万円増加いたしました。これは長期借入金が1,037百万円増加した一方で、リース債務（長期）が530百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は15,677百万円となり、前連結会計年度末より1,237百万円増加いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は7,526百万円となり、前連結会計年度末より582百万円減少いたしました。これは、利益剰余金が383百万円減少したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、6,551百万円となり、前連結会計年度末より1,399百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は252百万円（前年同期は86百万円の減少）となりました。これは税金等調整前中間純損失369百万円に対して、減損損失673百万円、減価償却費356百万円により増加した一方で、法人税等の支払額402百万円により減少したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は470百万円（前年同期は90百万円の増加）となりました。これは有形固定資産の取得による支出300百万円、敷金及び保証金の差入による支出152百万円により減少したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により増加した資金は1,433百万円（前年同期は677百万円の減少）となりました。これは長期借入れによる収入2,825百万円により増加した一方で、長期借入金の返済による支出1,285百万円により減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年10月22日の「特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,152,618	6,551,654
売掛金	992,548	952,274
棚卸資産	1,157,634	1,234,458
預け金	734,161	603,582
その他	424,066	504,198
貸倒引当金	△3,967	△4,088
流動資産合計	8,457,062	9,842,079
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,556,912	10,019,451
減価償却累計額	△5,706,918	△5,721,191
建物及び構築物（純額）	4,849,993	4,298,260
工具、器具及び備品	3,537,487	3,641,186
減価償却累計額	△2,916,301	△2,930,827
工具、器具及び備品（純額）	621,185	710,358
土地	2,490,358	2,490,358
建設仮勘定	36,716	191,264
使用権資産	5,120,659	4,691,540
減価償却累計額	△1,625,871	△1,721,439
使用権資産（純額）	3,494,787	2,970,101
その他	41,467	39,926
減価償却累計額	△24,381	△26,064
その他（純額）	17,086	13,862
有形固定資産合計	11,510,128	10,674,205
無形固定資産		
その他	140,882	136,438
無形固定資産合計	140,882	136,438
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,720,032	1,869,652
投資有価証券	318,096	283,398
繰延税金資産	162,497	162,497
その他	241,417	236,793
貸倒引当金	△323	△322
投資その他の資産合計	2,441,720	2,552,019
固定資産合計	14,092,731	13,362,664
資産合計	22,549,794	23,204,743

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	980,876	927,324
1年内返済予定の長期借入金	745,677	1,245,764
未払金	1,098,550	1,679,791
未払費用	684,570	595,659
未払法人税等	401,039	268,231
賞与引当金	196,495	220,858
販売促進引当金	44,600	44,600
資産除去債務	26,800	30,004
リース債務	655,743	592,335
その他	362,790	327,620
流動負債合計	5,197,143	5,932,189
固定負債		
長期借入金	4,310,072	5,347,191
繰延税金負債	1,095,583	1,093,400
退職給付に係る負債	2,237	2,074
リース債務	3,665,487	3,134,859
その他	169,466	168,068
固定負債合計	9,242,847	9,745,595
負債合計	14,439,991	15,677,785
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	1,143,124	1,151,119
利益剰余金	5,926,836	5,542,932
自己株式	△173,622	△149,136
株主資本合計	6,946,338	6,594,916
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105,894	105,546
為替換算調整勘定	△625,361	△537,407
その他の包括利益累計額合計	△519,467	△431,860
非支配株主持分	1,682,932	1,363,902
純資産合計	8,109,802	7,526,958
負債純資産合計	22,549,794	23,204,743

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	15,792,349	16,199,519
売上原価	4,406,380	4,604,599
売上総利益	11,385,968	11,594,920
販売費及び一般管理費	11,265,767	11,245,193
営業利益	120,201	349,726
営業外収益		
受取利息	3,800	5,883
持分法による投資利益	6,003	—
受取協力金	—	20,200
その他	17,389	16,284
営業外収益合計	27,193	42,367
営業外費用		
支払利息	34,916	44,525
為替差損	141,069	11,956
持分法による投資損失	—	21,239
その他	1,692	6,065
営業外費用合計	177,678	83,787
経常利益又は経常損失 (△)	△30,283	308,306
特別利益		
資産除去債務戻入益	—	10,242
子会社株式売却益	839,159	—
投資有価証券売却益	638,752	—
特別利益合計	1,477,912	10,242
特別損失		
減損損失	—	673,699
固定資産除却損	508	498
固定資産売却損	—	230
店舗閉鎖損失	82	13,469
在外子会社における送金詐欺損失	28,748	—
特別損失合計	29,340	687,898
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失 (△)	1,418,288	△369,349
法人税等	409,862	268,095
中間純利益又は中間純損失 (△)	1,008,425	△637,444
非支配株主に帰属する中間純損失 (△)	△23,316	△359,869
親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失 (△)	1,031,741	△277,575

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	1,008,425	△637,444
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	93,818	△347
為替換算調整勘定	△48,206	128,794
その他の包括利益合計	45,612	128,446
中間包括利益	1,054,037	△508,997
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,048,224	△189,968
非支配株主に係る中間包括利益	5,813	△319,029

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失 (△)	1,418,288	△369,349
減価償却費	355,179	356,149
賞与引当金の増減額 (△は減少)	16,217	24,362
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	478	105
受取利息	△3,800	△5,883
支払利息	34,916	44,525
為替差損益 (△は益)	142,288	11,421
持分法による投資損益 (△は益)	△6,003	21,239
投資有価証券売却損益 (△は益)	△638,752	—
固定資産売却損益 (△は益)	—	230
店舗閉鎖損失	82	13,469
固定資産除却損	509	498
減損損失	—	673,699
資産除去債務戻入益	—	△10,242
子会社株式売却損益 (△は益)	△839,159	—
在外子会社における送金詐欺損失	28,748	—
売上債権の増減額 (△は増加)	125,382	25,590
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△25,060	△102,324
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△6,797	71,861
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△5,977	△16,699
仕入債務の増減額 (△は減少)	105,733	△30,897
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△401,769	△19,716
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	5,707	10,158
その他	85,030	401
小計	391,242	698,601
利息の受取額	3,800	5,883
利息の支払額	△35,016	△49,547
法人税等の支払額	△417,797	△402,492
在外子会社における送金詐欺損失の支払額	△28,748	—
法人税等の還付額	0	8
営業活動によるキャッシュ・フロー	△86,520	252,452
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△849,545	△300,619
有形固定資産の除却による支出	—	△327
無形固定資産の取得による支出	△9,504	△13,121
投資有価証券の取得による支出	△134,785	—
投資有価証券の売却による収入	656,064	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による 収入	481,925	—
長期貸付金の回収による収入	1,222	832
敷金及び保証金の差入による支出	△37,598	△152,202
敷金及び保証金の回収による収入	703	817
預り保証金の返還による支出	△186	△1,513
預り保証金の受入による収入	—	285
その他の投資の取得による支出	—	△4,003
その他	△18,032	△299
投資活動によるキャッシュ・フロー	90,263	△470,153

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	82,845	2,825,000
長期借入金の返済による支出	△662,042	△1,285,301
配当金の支払額	△93,463	△105,853
非支配株主への配当金の支払額	△4,967	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△677,628	1,433,845
現金及び現金同等物に係る換算差額	△344,890	182,891
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,018,776	1,399,035
現金及び現金同等物の期首残高	5,941,124	5,152,618
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,922,347	6,551,654

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1 前中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	日本	北米	ミクロネシア	欧州	アジア	合計
売上高						
一時点で移転される財 又はサービス	11,181,930	3,726,367	665,770	—	95,700	15,669,768
一定の期間にわたり移転 される財又はサービス	38,684	—	—	—	—	38,684
顧客との契約から生じる 収益	11,220,614	3,726,367	665,770	—	95,700	15,708,452
その他の収益（注）	83,896	—	—	—	—	83,896
外部顧客への売上高	11,304,510	3,726,367	665,770	—	95,700	15,792,349
セグメント間の内部 売上高又は振替高	35,026	8,312	—	—	—	43,338
計	11,339,537	3,734,679	665,770	—	95,700	15,835,687
セグメント利益 又は損失（△）	814,659	△414,114	33,297	△17,426	△16,731	399,684

(注) その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入等であります。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	399,684
全社費用（注）	△279,589
その他の調整額	107
中間連結損益計算書の営業利益	120,201

(注) 全社費用は、主に当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用です。

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

2 当中間連結会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	日本	北米	ミクロネシア	欧州	アジア	合計
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	12,188,032	3,093,927	633,597	—	159,972	16,075,529
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	38,906	—	—	—	—	38,906
顧客との契約から生じる収益	12,226,939	3,093,927	633,597	—	159,972	16,114,436
その他の収益（注）	85,082	—	—	—	—	85,082
外部顧客への売上高	12,312,022	3,093,927	633,597	—	159,972	16,199,519
セグメント間の内部売上高又は振替高	33,207	8,914	—	—	—	42,121
計	12,345,229	3,102,841	633,597	—	159,972	16,241,640
セグメント利益又は損失（△）	899,956	△252,522	25,656	△20,852	△18,376	633,861

(注) その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入等であります。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	633,861
全社費用（注）	△284,134
その他の調整額	—
中間連結損益計算書の営業利益	349,726

(注) 全社費用は、主に当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用です。

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：千円)

	日本	北米	ミクロネシア	欧州	アジア	全社・消去	計
減損損失	—	673,699	—	—	—	—	673,699

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年6月26日開催の取締役会決議に基づき、2025年7月23日付で譲渡制限付株式報酬として自己株式(10,900株)の処分を実施いたしました。これにより、当中間連結会計期間において資本剰余金が7百万円増加し、自己株式が24百万円減少しております。

この結果、当中間連結会計期間末において、資本剰余金が1,151百万円、自己株式が149百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。